

報道関係各位

2009年12月15日

**業平橋・押上地区開発計画(東京スカイツリー®計画)の複合型施設内に
コニカミノルタによる最新鋭の多機能型ドームシアターを開設**

東武鉄道株式会社
コニカミノルタホールディングス株式会社

東武鉄道株式会社(本社:東京都墨田区、以下 東武鉄道)とコニカミノルタホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、以下 コニカミノルタ)は、東武鉄道と東武タワースカイツリー株式会社が進める東京都墨田区業平橋・押上地区における「東京スカイツリー計画」の多機能複合型施設・東街区において、コニカミノルタが最新鋭の多機能型ドームシアター『コニカミノルタTOKYOプラネタリウム(仮称)』を開設することで基本合意しました。

「東京スカイツリー計画」では、「Rising East Project」として、江戸・東京の文化を受け継ぐこの地域で「アトリエコミュニティ」「優しいコミュニティ」「開かれたコミュニティ」をコンセプトに、高さ 634mの「東京スカイツリー」を核とする多機能複合型施設の開発を、2012 年春開業を目標に進めています。『コニカミノルタ TOKYO プラネタリウム(仮称)』は、「開かれたコミュニティ」の中核施設として、観光機能と集客機能を兼ね備えた最新鋭の多機能型ドームシアターとして開設されます。

『コニカミノルタ TOKYO プラネタリウム(仮称)』では、これまでのプラネタリウムを主体としたドーム施設の枠組みを超え、全天周映像による様々なエンターテインメントコンテンツの提供など、多様な空間活用を目指しています。新しいコミュニティスペースとして、世界各国、日本全国からご来場されるお客様、そして地域に暮らす方々に、上質のエンターテインメントと交流の機会を提供してまいります。

具体的な施設内容や運営方針、正式名称等につきましては、決定次第ご案内いたします。

【コニカミノルタ TOKYOプラネタリウム(仮称)／施設概要】

施設名称 : コニカミノルタ TOKYOプラネタリウム(仮称)

ドーム径 : 18m

座席数 : 約220席

運 営 : コニカミノルタプラネタリウム株式会社
(本社:大阪市西区)

開 業 : 2012年春

【コニカミノルタ TOKYO プラネタリウム(仮称)／イメージ画像】



■内観(イメージ)

《 参 考 : 「東京スカイツリー計画」概要 》

【施設概要】

所 在 : 東京都墨田区押上一丁目
構 造 : 鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造
規 模 : 地下3階、地上31階
敷地面積 : 約36,900㎡
延床面積 : 約230,000㎡(タワー部分含む)

【開発コンセプト】

3つのコンセプトで下町文化の歴史を受け継ぎつつ、「東京スカイツリー」を中心とした新しい都市文化の創造発信拠点の形成を目指しています。

[アトリエコミュニティ]

日本、下町のものづくりのDNAを継承し、人々の交流が、新たな都市文化を創造するコミュニティ。

[やさしいコミュニティ]

人に、地球に優しく、災害に強く、安全で安心して暮らせる、潤いと活気に満ちたコミュニティ。

[開かれたコミュニティ]

先端技術、メディアが集積し、新しい日本、新しい東京を、世界へと発信するタワーを核としたコミュニティ。



News Release

2009年12月15日

「東京スカイツリー®」計画の複合型施設内に コニカミノルタによる最新鋭の多機能型ドームシアター開設

コニカミノルタホールディングス株式会社
コニカミノルタプラネタリウム株式会社

コニカミノルタホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、社長：松崎 正年）とコニカミノルタプラネタリウム株式会社（本社：大阪市西区、社長：上田 裕昭 以下 コニカミノルタ）は、現在、東武鉄道株式会社と東武タワースカイツリー株式会社が進める東京都墨田区業平橋・押上地区における「東京スカイツリー®計画」の多機能複合型施設・東街区に多機能型ドームシアターを開設し、その施設内装施工と投映機器の設置、直接運営をいたします。

「東京スカイツリー®計画」では、「Rising East Project」として「アトリエココミュニティ」「優しいコミュニティ」「開かれたコミュニティ」をコンセプトに、高さ634mの「東京スカイツリー®」を核とする多機能複合型施設の開発が、2012年春の開業を目指して進められております。

その中の多機能複合型施設・東街区に、観光機能と集客機能を兼ね備えた映像空間施設として多機能型ドームシアターが開設され、コニカミノルタが最新鋭の投映技術と設備を導入して『コニカミノルタTOKYOプラネタリウム（仮称）』として直接運営に携わります。

コニカミノルタでは、教育分野からエンターテインメント分野まで、その施設規模やコンテンツ内容に幅広く対応した光学式プラネタリウム機器や全天周映像投映システムを開発、展開しております。2004年から『コニカミノルタプラネタリウム“満天” in Sunshine City』（東京都豊島区）を直接運営し、リアルな星空と最新の科学情報に基づく番組や、本年7月に観測された皆既日食の実写映像などを織り込んだ臨場感溢れる全天周映像、さらにドーム空間を活かしたエンターテインメント性溢れる様々なコンテンツを展開しております。また2009年3月には和歌山大学観光学部様へ、高精細全天周デジタル映像投映システム『スーパーメディアグローブⅡ』を納入いたしました。同大学では、学内で制作された実写による高画質映像やコンピュータグラフィックス映像の投映システムとして『スーパーメディアグローブⅡ』を活用されています。

『コニカミノルタTOKYOプラネタリウム（仮称）』では、これまでのプラネタリウムを主体としたドーム施設の枠組みを超え、コンセプトの一つである「開かれたコミュニティ」の中核施設として、またコミュニティの豊かさが実感できるスペースとして運営してまいります。さらにコニカミノルタが培ってきた多機能型ドームシアターに関する実績とノウハウを活かし、「東京スカイツリー®計画」における環境対応や“文化の発展と創造”の一助となるよう展開いたします。

具体的な施設内容や運営方針、正式名称等につきましては、決定次第ご案内いたします。

<施設概要(予定)>

施設名称：コニカミノルタ TOKYO プラネタリウム(仮称)
ドーム径：18m
座席数：約220席
運営：コニカミノルタプラネタリウム株式会社
（本社：大阪市西区、社長：上田 裕昭）
コニカミノルタ WEB サイト：<http://konicaminolta.jp>